

平成24年度 法科大学院入学者選抜試験問題

刑 法

1. 試験開始の合図があるまで、この問題用紙の中を見てはいけません。
2. 試験時間は、60分です。
3. 試験中に問題用紙の印刷不鮮明や解答用紙の汚れ等に気付いた場合は、手を挙げて監督者に知らせてください。
4. 解答にあたっては、必ず黒か青のペン（鉛筆は不可）またはボールペンを使用してください。
5. 解答用紙に記入するときには、下記の点に注意してください。
 - (1) 受験番号・氏名を所定欄に記入してください。
 - (2) 解答用紙は、2枚あります。2枚目の解答用紙にも受験番号・氏名を記入し、ホチキスは、はずさないで使用してください。
 - (3) 訂正する場合は、＝線で消すなどして、分かりやすく訂正してください。
 - (4) 解答用紙は、折り曲げたり汚したりしないでください。
6. 問題用紙の余白等は適宜利用してかまいません。
7. 試験終了後、問題用紙は持ち帰ってください。

【刑法】

X男とY女は夫婦であるが、同居している次男Z（32歳）が被害意識が強く、妻Aにも嫉妬妄想により暴力をふるうので、Aが子B女（2歳）を置いて実家に戻ってしまい、仕方なく、X・YがBを養育していたが、Zは、かつて同居していた長男CとAとの仲も疑い、「そのことを知っているだろう、話せ」とX・Yに毎夜のように暴力をふるうため、他の家族も寄り付かなくなり、Xは、Zをこのままにしておいたら、親類中が迷惑すると思い詰めた。当日の夜もZは刃物を持ち出して、「殺してやる」とXにせまり、包丁の柄でXの手をこづいたりしたのをX・Yで何とかなだめ、お酒を飲ませて寝かせた。Xは、目を覚ますと体格も上回るZが何をするか分からないと、身の危険を感じ、石油ストーブの転倒のために起きた火災を装って、Zを殺害しようと企て、Yに、灯油を用意して、Bを連れて外出するように指示し、酔って寝てしまったZに灯油をかけ、そのそばに石油ストーブを転倒させて着火し、急ぎ外出した。それにより、Zは焼死した。その際、Yは、Bが寝てしまっているため、子ども部屋に寝かせておけば大丈夫だと思って、部屋に寝かせておき、一人で娘のところに行っていた。しかし、思いの他、火の回りが早く、Zが寝ていたリビングを焼毀するとともに、発生した有毒ガスがBの寝ている部屋にまで達し、Bはそれを吸って死亡した。鎮火したあと、ZとBの死体が発見され、灯油缶の存在から、放火であることが判明した。

X・Yの罪責について、論じなさい。

[配点80点]